

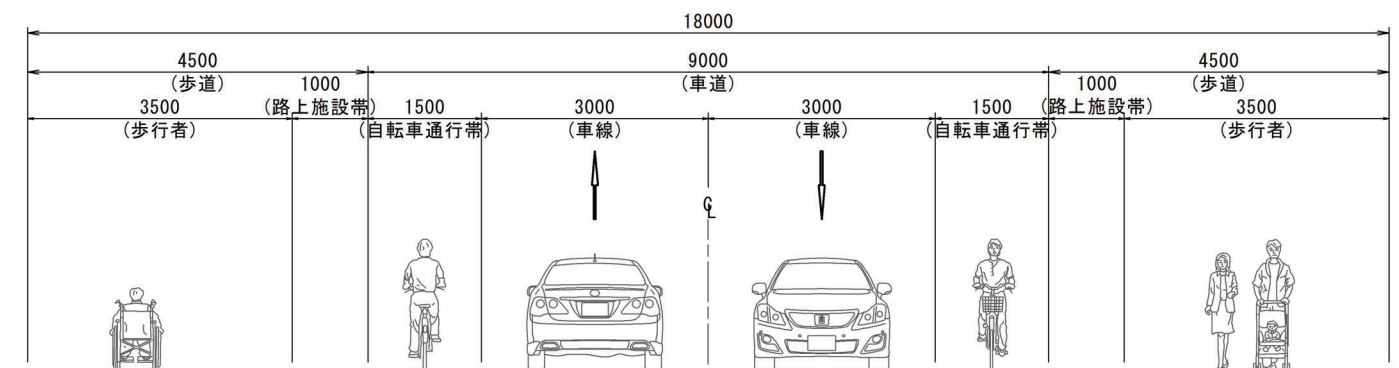
整備計画案

【コンセプト】

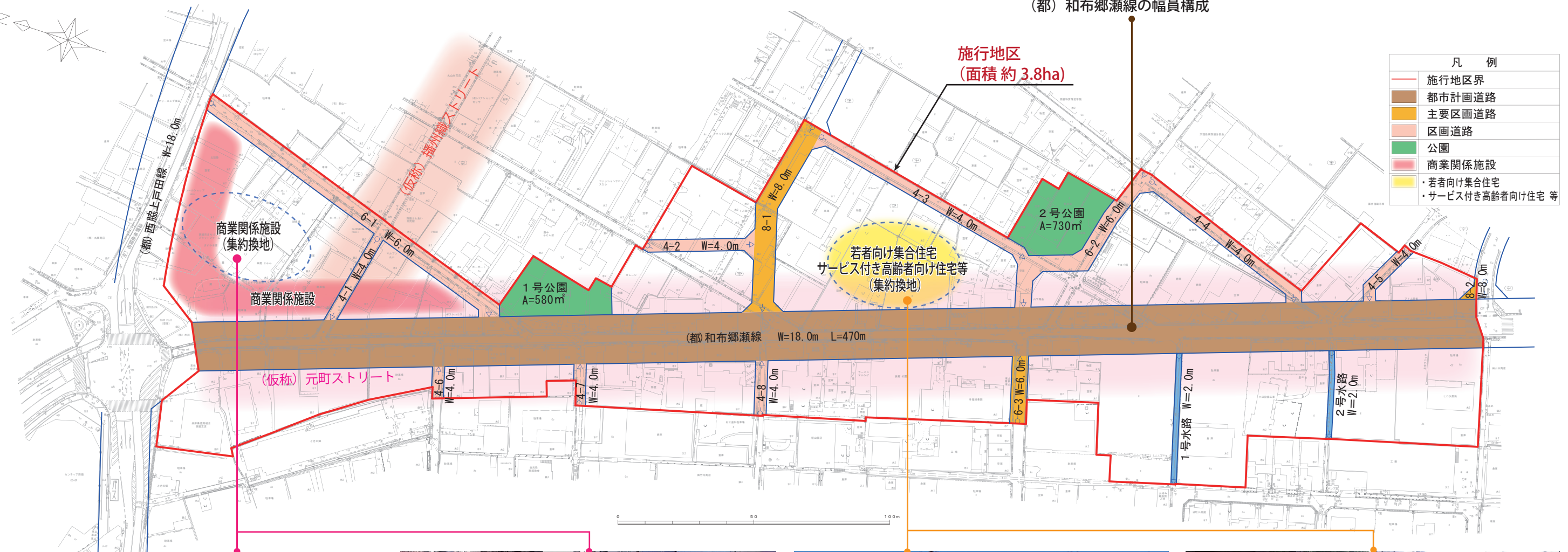
災害に強い
安全・安心
歩きたくなる
居心地いいまち

【ポイント】

- **老朽建築物の更新及び不燃化の促進**
- **安全・快適で緊急車両もスムーズに通行できる道路網の整備**
- **地域住民の憩いの場であり災害時の一時避難所となる公園の整備**
- **定住促進に向けた空き地などの集約・活用による高齢者・若者向け集合住宅の立地誘導**



(都) 和布郷瀬線の幅員構成



商業関係施設イメージ



商業関係施設イメージ



集合住宅イメージ



集合住宅交流スペースイメージ

道路配置・幅員の考え方について

【ポイント】安全で 緊急車両もスムーズに通れる道路網

- 車が安全にスムーズに通行できるよう道路の段階的構成に沿った道路網とします。
- 幹線道路の交通がスムーズに流れるようにするために、幹線道路と区画道路との交差点を極力少なくします。
- 交差点での見通しを良くするために、幹線道路や主要生活道路に取り付く区画道路は直角に近い角度で交差させます。

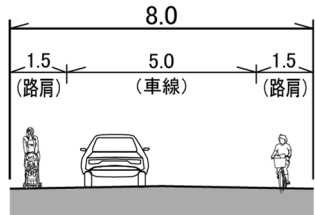
≪道路の段階的構成≫

幹線道路：地域と地域を結び、多くの交通を処理する道路

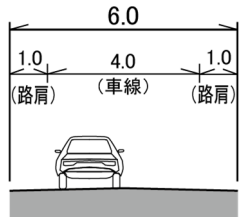
- (都)西脇上戸田線 (幅員 18m)
- (都)和布郷瀬線 (幅員 18m)

主要区画道路：幹線道路と区画道路を結び、これらの道路の交通を集散させる道路

- 8-1号線、8-2号線 (幅員 8m)
(都)和布郷瀬線と(都)野村蒲江線を結ぶ主要区画道路は、車のすれ違いがしやすく歩行者が通行しやすい幅員 8 m とします。
歩行者や自転車通行の安全性を確保するため、路肩幅員 1.5m、車線幅員 5.0m (センターラインなし) とします。

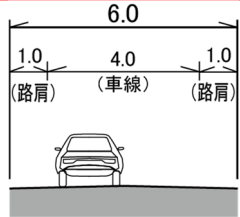


- 6-3号線 (幅員 6m)
(都)和布郷瀬線と由縁橋を結ぶ主要区画道路は、車や歩行者が比較的通行しやすい幅員 6 m とします。



区画道路：沿道宅地へのサービス道路

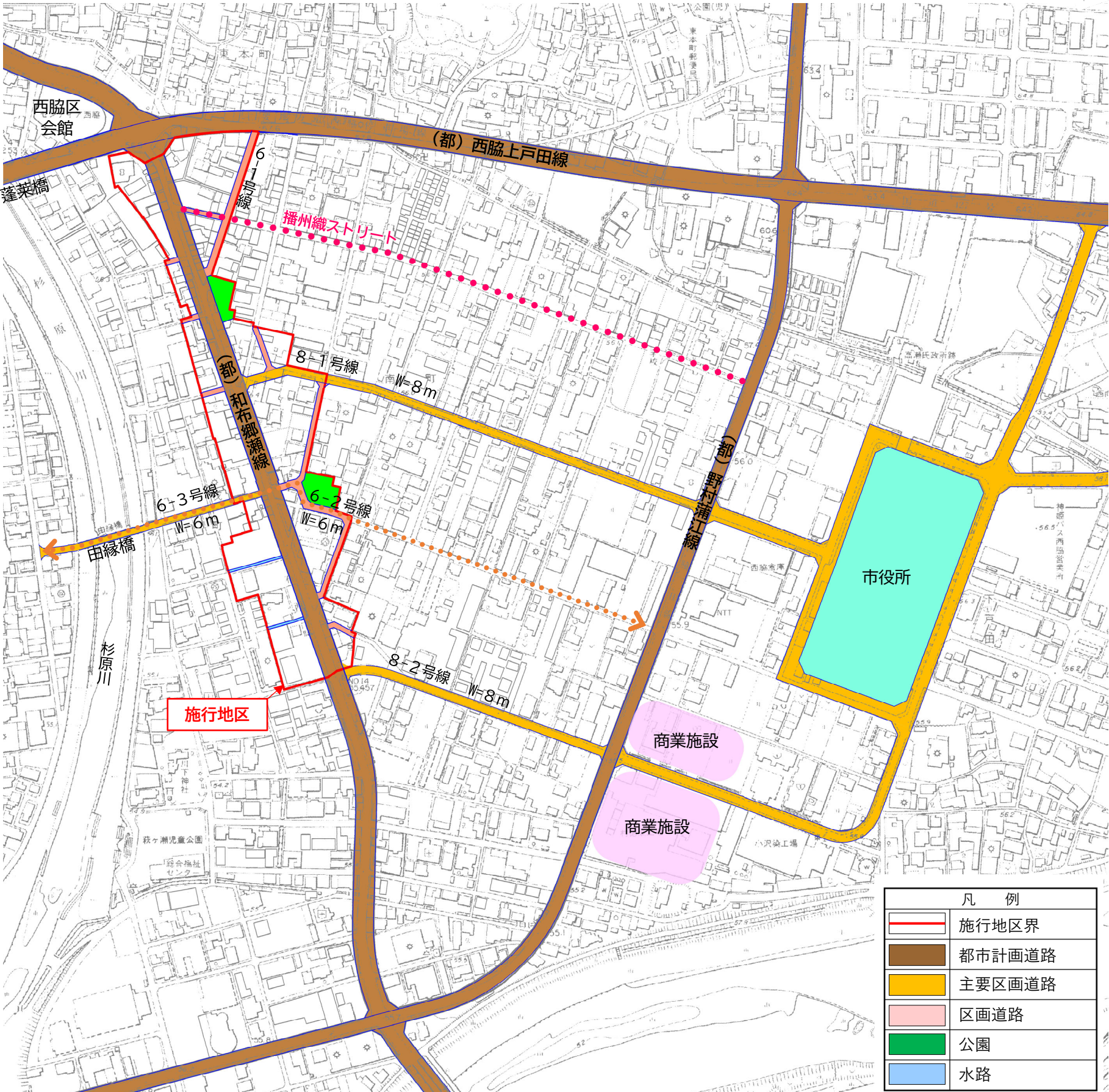
- 6-1号線 (幅員 6m)
店舗等の集積を目指す街区を構成する道路として、車や歩行者が比較的通行しやすい幅員 6 m とします。



- 6-2号線 (幅員 6m)
由縁橋につながる東西方向の主要な動線となるため、車や歩行者が比較的通行しやすい幅員 6 m とします。



- 4-1～4-8号線 (幅員 4m)
その他の区画道路は幅員 4 m とします。



道路配置・幅員の考え方について

【コンセプト】

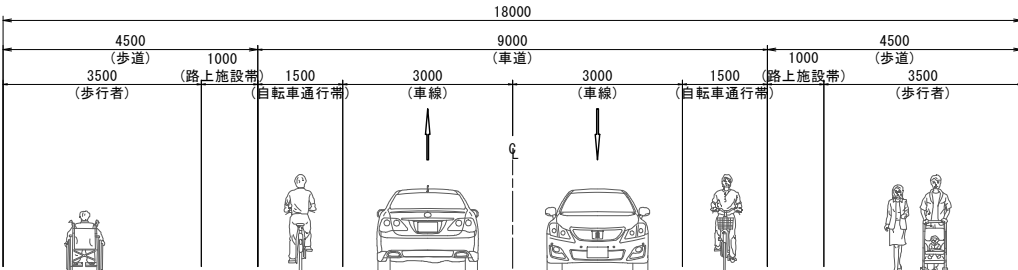
災害に強い
安全・安心
歩きたくなる
居心地いいまち

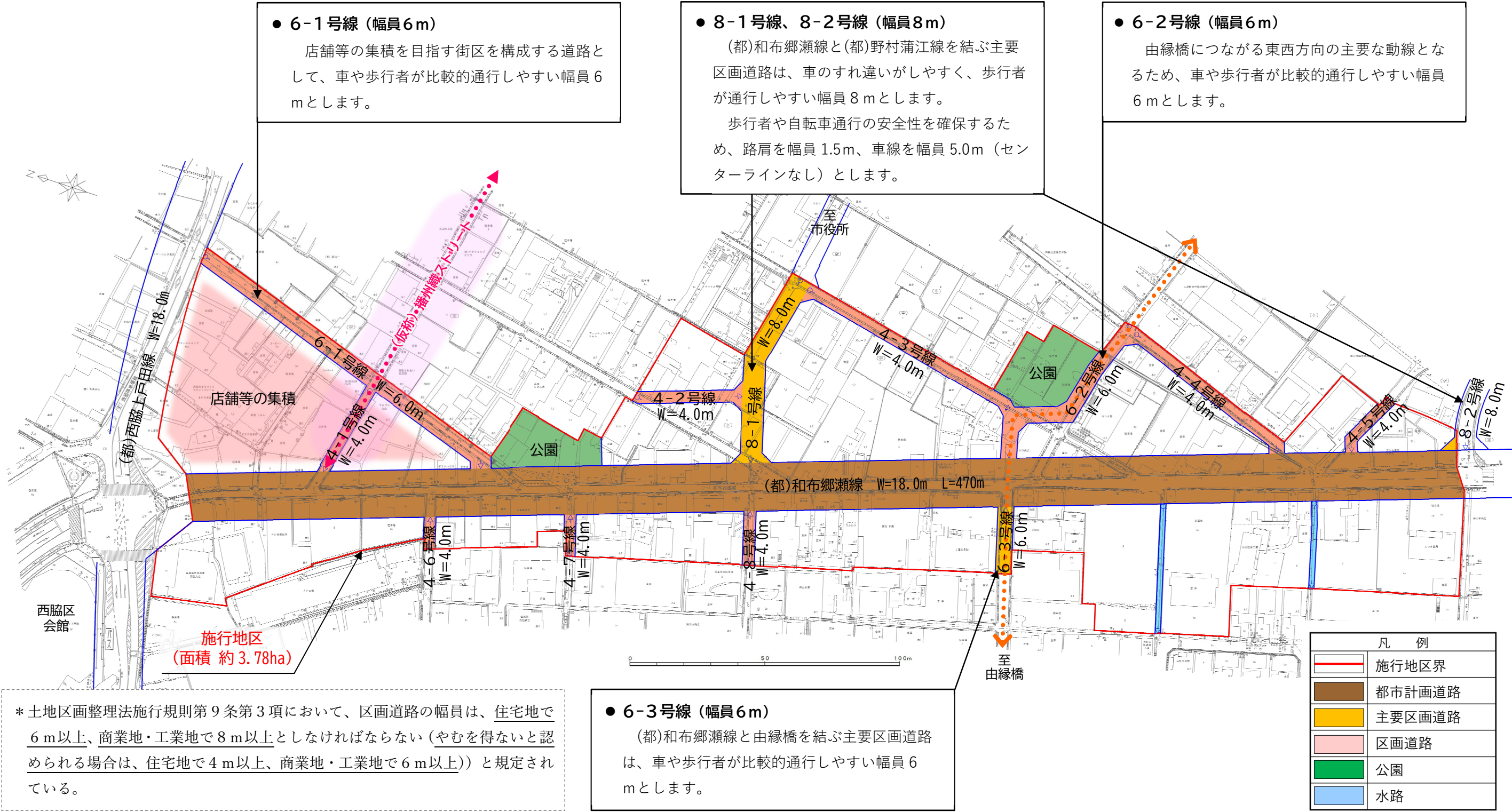
●(都)和布郷瀬線(幅員18m)

車が走行する車線(幅員3.0m)を2車線配置するとともに、車線の両側に自転車通行帯(幅員1.5m)を配置し車道とします。

また、車道の両側に歩道(幅員4.5m)を配置し、歩道のうち車道側の幅員1.0mは道路標識や照明灯、電線を地中化するにあたり必要な路上機器を設置するスペース(路上施設帯)とします。

今後も引続き兵庫県や警察と協議を進めていきます。





凡 例	
	施行地区界
	都市計画道路
	主要区画道路
	区画道路
	公園
	水路